



## 佐渡市両津消防団が消防庁から長官褒状を受賞

佐渡市両津消防団が、昨年の2月24日に発生した高波災害に際し、災害防衛活動などを積極的に行い、地域住民の安全確保に多大な貢献をしたとして、消防庁長官から災害活動表彰を受賞しました。

当時、強風と高波が佐渡を襲い、沖の防波堤を損壊し、漁船の流失、家屋の損壊、床下浸水、道路の決壊および冠水等の被害が発生し、9名の負傷者が出ました。両津消防団は、3日間にわたり延べ255人が出動し、押し寄せる高波の中で水防活動を行うとともに、住民の避難誘導、安否確認・警戒、状況報告等の活動を行い、被害の軽減に努めました。

この表彰は大規模災害時に顕著な活動をした消防団の功績をたたえるもので、両津消防団など21団体が「消防庁長官褒状」を受賞しました。



高野市長に受賞の報告をする両津消防団・安藤団長(左)

## 巡回スポレク教室開催 3月3日



新潟県障害者スポーツ協会の主催で、巡回スポレク教室が新穂地区体育館を会場に開催されました。

当日は養護学校の生徒をはじめ島内入所、通

所施設の利用者総勢65名が参加し、フライングディスクや風船バレーなどの競技を楽しみました。

フライングディスクは障がい者国体の種目で、参加者の中には今年のトキめき新潟国体予選に参加する選手もあり、熱心に指導を受けていました。

トキめき新潟国体に向け、頑張れ佐渡の星!!

相川

## 今年で5回目 佐渡國 相川ひなまつり 2月28日~3月22日

佐渡國相川ひなまつりが開催され、市の無形文化財に指定されている八幡人形が展示されていました。この人形は、明治初期に平民が、高価なひな人形の代わりに土で作り色づけした人形だそうです。素朴で味のある人形で訪れた人



たちの中には、家にも昔こんな人形があったとなつかしがる人もいました。

真野

## 旬のアンコウを味わう よってけ祭り 3月8日

「よってけ祭り」が真野活性化センターいぶき21を会場に行われました。海産物や果物、寿司やそばなどの出店が多く並び、おいしい食を求めて、たくさんの来場者で賑わいました。アンコウの吊るし切りが実演されると、見事な手さばきで解体する様子に、観客は見入っていました。



両津

## 子ども鮭放流プロジェクトin佐渡 3月20日



両津地区の久知川下流域で、鮭の稚魚放流が行われました。この取組みは、鮭稚魚の放流とおして、地域の水産資源を知り、

豊かな海を守るために身近なことから取り組んでいくことの大切さを感じてもらうことを目的としています。

参加した子どもたちは、体長約5cm、体重約1gの小さな稚魚に「元気で帰ってきてね」と声をかけながら、放流しました。